

# Oracle Support と Rimini Street の本当の違いをご理解ください

サイバー犯罪の脅威は加速し続けています。ビジネスでは危険から会社を守るソリューションとサポートパートナーが必要です—**賢く選択しましょう。**

## よく調べてみましょう

選択肢を見極める時には、Rimini Street など、サードパーティーのサポートモデルの潜在的な落とし穴とその限界を認識することが非常に重要です。

- 現実世界のセキュリティに対する本物のソリューションは**ソース**にあります。しかし、Rimini Street の「包括的セキュリティ」アプローチはソースコードレベルで十分なセキュリティを提供していません。
- 本物の事前対策セキュリティは更新され、重要なパッチングは**ソース**を守ります。しかし、Rimini Street の「バーチャルパッチング」は全てのソースコードをパッチングしておらず、また、することもできません。

オラクルは、貴社の運営のためにご使用になるソフトウェアは**信頼でき、安全で、包括的**であるべきだと固く信じています。時間をかけて質問し、答えを求めて、Oracle Support と Rimini Street の本当の違いをご理解ください。

## 信頼 VS. 不信感

### オラクルは実績があり、信頼されるビジネスパートナー

- オラクルは 40 年間、世界の 43 万人のお客様に妥協なきサポートサービスを提供し、お客様の評判と事業利益を確実に保護するよう、支援しています。
- お客様にとって極めて重要な事業利益を守るための力となる人材、プロセス、テクノロジーがあります。
- 効果的で、リスク耐性があり、厳格な検証を経た革新的なアップグレードを提供し、技術投資がいっそう効果的になるよう、支援しています。

### サイバー犯罪は現実のものです

- 2025年までに全世界で発生するサイバー犯罪の年間被害額は10兆5,000億ドル。
- サイバー攻撃の試みは2023年に104%増加。
- 2023年のデータ侵害の世界平均総費用は445万ドル。
- ランサムウェア攻撃は2023年も急増。

## Rimini Street は信頼性に欠けます

- 裁判では、Rimini Street の事業がオラクルのソフトウェアに関する権利侵害に立脚していること、また、Rimini Street の訴訟での見解はオラクルのソフトウェアに関するライセンス契約の明らかなる誤読に基づいていると認定されました。
- Rimini Street の CEO は、Rimini Street がオラクルのソフトウェアを権利範囲を越えて使用していたことを何年も否定した後、Rimini Street が「常に」ある 1 社の顧客のソフトウェアを他の顧客をサポートするために使用していたと認めました。
- Rimini Street は信頼性に欠け、お客様の技術投資を全面的に保護することはできません。

## セキュア VS. 無防備

### オラクルにはフル装備のセキュリティ機能があります。

- ソースにセキュリティ機能を提供し、ソフトウェアスタックの全てのレイヤーでパッチングが行われます。
- ツールがあり、ソースコードを所有し、セキュリティ更新を開発する能力があります。
- フルスタック全体の回帰テストがあり、全てのレベルでセキュリティを提供いたします。

### Rimini Street には本物のセキュリティがありません

- 主にファイヤーウォールに依存しており顧客は脆弱性を抱えたままになります。
- 関係するソースコードへのアクセスがなく、利用することができないため、十分なソフトウェアセキュリティパッチを開発することができません。
- ファイヤーウォールには抜け道があり内部の不正に対する防御もできません。境界重視の不適切なセキュリティ戦略により攻撃に対して無防備なままとなります。

### 主な特色

- スタック全体をカバーするソフトウェアサポート
- 24 時間 365 日、Oracle Software のエキスパートが対応
- 機能強化、セキュリティパッチ、修正、新製品の発表
- Oracle セキュリティ警告と速報、重要なパッチの更新の警告
- 技術的リソース、プロアクティブなサポートツール、修正、機能強化
- 新製品の発表
- Lifetime Support Policy

### 主な利点

- Oracle Software の投資で最大の価値を手に入れます。
- 一貫して事業の責任を果たします。
- お客様の IT 組織の生産性を高め、成功に導きます。
- 迅速な解決と事前対策のサービスツールで事業の混乱を最小限に抑えます。

## 包括的 VS. 不完全

### オラクルは包括的にカバーします

- 現在および将来的なビジネスに向けて、自社運用および Oracle Cloud で、完璧で頼りになる完全一体型の検証済み製品を提供いたします。
- 常に前進し比類のない一貫した革新を提供いたします。
- 単一の説明責任（SPOA）を以って広範囲の保護を提供し、世界中で一貫したサービスを提供いたします。
- お客様のオラクルテクノロジー環境の全体に向けたシンプルかつ予測可能で柔軟な Lifetime Support を提供いたします。また、Oracle Applications Unlimited 製品でご自分のアップグレード戦略を制御できるようになります。Oracle Premier Support は少なくとも 2035 年まで継続します。

### Rimini Street は不完全です

- Rimini Street は最新のオラクルの革新、強化、ソフトウェアバージョンを利用する手段を提供することができないため、顧客を置き去りにしています。
- 顧客は新しい技術の利点を生かしてビジネスの革新と成長を生み出すことができません。
- 最新の更新を提供することができず、お客様の投資を保護することができません。

## 代替手段は受け入れないでください

オラクルは、プロアクティブな保守とコード変更を行うパッチングとを組み合わせる変更管理プロセスには、代替手段はないと信じています。コード変更を行うパッチングは**ソース**で行われ、お客様のシステムとデータを脆弱性から保護します。最終的にビジネスと顧客が求めるのは、実績があり、結果を出すことのできる信頼のおけるパートナーが実現する最高の保護です。

**安価な Rimini Street で妥協してはいけません。Oracle Support で本物のサポートを手に入れてください。**

詳細は [oracle.com/jp/support/trusted-support.html](https://oracle.com/jp/support/trusted-support.html) でご確認ください。

### お問い合わせ先

[oracle.com/jp/support](https://oracle.com/jp/support) をご参照いただくか、弊社担当営業までお問い合わせください。

 [blogs.oracle.com](https://blogs.oracle.com)

 [facebook.com/oracle](https://facebook.com/oracle)

 [twitter.com/oracle](https://twitter.com/oracle)

Copyright © 2024, Oracle および/またはその子会社。著作権所有。本文書は情報提供のみを目的として提供されており、記載内容は予告なく変更されることがあります。本文書は、その内容に誤りがないことを保証するものではなく、また、口頭による明示的保証や法律による黙示的保証を含め、商品性ないし特定目的適合性に関する黙示的保証および条件などのいかなる保証および条件も提供するものではありません。オラクルは本文書に関するいかなる法的責任も明確に否認し、本文書によって直接的または間接的に確立される契約義務はないものとします。本文書はオラクルの書面による許可を前もって得ることなく、いかなる目的のためにも、電子または印刷を含むいかなる形式や手段によっても再作成または送信することはできません。

Oracle と Java は Oracle および/またはその子会社の登録商標です。その他の名称はそれぞれの所有者の商標です。

Intel と Intel Inside は Intel Corporation の商標または登録商標です。SPARC 商標は全てライセンスを受けて使用されており、SPARC International, Inc.の商標または登録商標です。AMD、Epyc、AMD ロゴ は Advanced Micro Devices の商標または登録商標です。UNIX は The Open Group の登録商標です。Version 1.02

### 主な利点

- Lifetime Support についての詳細は [Applications Unlimited](#) をご覧ください。
- お客様がもしサードパーティのサポートを受けることを検討しているのであれば、まずは彼にこれらの間 [に対しての答え](#) を求めてみてください。
- セキュリティ衛生は重要です。詳細については [Webcast](#) をご覧ください。
- サイバー犯罪についての詳しい情報は、[こちら](#)をごらんください。